

魚類・底生動物調査を行いました！

1. 魚類調査結果

(魚類調査日) 2020年9月14日、15日

投網や地引網などを使用して、自然再生ゾーン整備後の魚類の生息実態調査を行いました。

合計5目17種の魚種が確認できました。

全体のうち、重要種は約3割、外来種は約2割です。

生活型別にみると、河川中～下流域に生息する純淡水魚が主体（約7割）であり、純淡水魚を主体とした魚類相です。これに対して、海域と連続していることからスズキ、ボラ、マハゼ等の汽水・海水魚、ヌマチチブ、ゴクラクハゼ等の回遊魚（約3割）が生息しています。

目名	種名	砂浜	自然再生	大川
コイ目	コイ	1	2	
	ギンブナ	9	6	3
	オイカワ	2		
	カワヒガイ（重要種）	3		
	ニゴイ	6		5
	コウライモロコ	1		
ナマズ目	チャネルキャットフィッシュ（外来種）		1	
ボラ目	ボラ		6	
カダヤシ目	カダヤシ（外来種）		3	
スズキ目	スズキ			1
	ブルーギル（外来種）	6	1	
	オオクチバス（外来種）	10	13	
	マハゼ	1	3	
	ヌマチチブ		1	
	ゴクラクハゼ	1	1	
	シマヒレヨシノボリ（重要種）	1		
ウロハゼ			1	

2. 底生動物調査結果

(底生動物調査日) 2021年1月15日

エクマンバージ型採泥器やタモ網などを使用して、自然再生ゾーン整備後の底生動物の生息実態調査を行いました。合計15目30種の底生動物が確認できました。分類群としては、シジミ属やヒメタニシが多く確認されました。

毎年確認されている二枚貝のイシガイは、魚類のカワヒガイが産卵母貝とするため共生関係にあります。

目名	種名	砂浜	自然再生	大川
三岐腸目	アメリカナミウズムシ(外来種)		1	2
新生腹足目	ヒメタニシ	48	33	159
	ハベカワニナ (重要種)	19	9	2
	クロダカワニナ (重要種)	11	6	
	チリメンカワニナ	19	14	19
イガイ目	カワヒバリガイ(外来種)		5	2
イシガイ目	トンガリササノハガイ(重要種)	1		1
	イシガイ(重要種)	4	5	2
マルスダレガイ目	シジミ属	2	10	277
オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	18	7	
イトミミズ目	エラミミズ	13	8	7
	モトムラユリミミズ	1		
	フトゲユリミミズ	16	18	6
	ユリミミズ	16	12	
	ユリミミズ属	37	20	33
	ミズミミズ科		8	51
吻蛭目	ヌマビル		2	9
	ヒラタビル科	5	5	19
吻無蛭目	ナミイシビル	1	2	4
	イシビル科		3	1

目名	種名	砂浜	自然再生	大川
ヨコエビ目	フロリダマミズヨコエビ(外来種)	3		
トンボ目	シオカラトンボ		2	
カメムシ目	クロチビミズムシ		2	
	チビミズムシ属		3	
トビケラ目	ムネカクトビケラ属			1
ハエ目	ビワヒゲユスリカ属	5		
	トラフユスリカ属			2
	カマガタユスリカ属	2		
	フユユスリカ属	4		
	エリユスリカ属	4		
	サワユスリカ属	1		
	アカムシユスリカ	3		
	アシマダラユスリカ属	1		
ハネコケムシ目	カンテンコケムシ	休芽		休芽
	ヒメテンコケムシ	休芽	休芽	休芽

